

令和7年1月10日

令和6年中における災害件数（速報値）

～救急出動件数 過去最多を更新～

市消防本部では、令和6年中の火災・救急・救助の災害件数（速報値）をまとめました。速報値の内訳と消防本部コメントは次のとおりです。

□火災

発生件数	18件（前年比11件減）
主な種別	「建物火災」7件（前年比3件減、全体の38.9%）
死傷者	1人（死者0人、負傷者1人（前年比1人減））
り災世帯	8世帯（前年比1世帯増）
出火原因	「その他」（収れん、焼却行為からの延焼等）が最も多く6件（前年比2件増）

□救急

発生件数	9,602件（前年比484件増）※過去最多
1日の最多発生件数	48件（6月19日）※過去最多
主な種別	「急病」 6,478件（前年比194件増、全体の67.5%） 「一般負傷」 1,574件（前年比141件増、全体の16.4%） 「交通事故」 534件（前年比23件増、全体の5.5%） 「その他」 1,016件（前年比126件増、全体の10.6%）
搬送人数	8,726人（前年比433人増）

□ 救助

救助件数	176件（前年比13件増）
主な種別	「建物等による事故」77件（前年比20件増、全体の43.8%）
被救助者	89人（前年比16人増）

【消防本部コメント】

市内の火災件数は減少していますが、空気の乾燥する時期は火災発生件数が多い傾向であるため、自宅の周辺に燃えやすいものを置かないなど、日頃から火災予防を心掛けるようご協力をお願いします。救急出動件数は、昨年を上回り過去最多の出動件数となりました。主な増加の要因は、高齢化社会の進展による、後期高齢者の搬送人員増加（昨年比556人増）と考えられます。また、安否確認による救助出動が増加しており、今般の社会情勢を反映した状況であると考えています。

今後も更なる人口増加、高齢化率の増加に伴い、救急出動件数は増加傾向となることが予想されます。入院を必要としない軽症の方が48.8%を占めているなど、救急車を呼ぶべきか迷った際には、「えびな24時間健康相談ダイヤル（0800-300-7925）」、「救急医療相談事業（#7119）」を活用していただき、引き続き救急車の適正利用にご理解とご協力をお願いします。

◎この件に関するお問い合わせ

海老名市消防本部警防課 電話 046-231-0921